

法音

日蓮宗
法音寺

今月のご法話

「眠れる預言者」

令和8年

1月号

No.675

おし
つた

人を善に導きましょう

令和8年1月号 No.675

地涌菩薩たらんどの志を持ちましよう

鈴木正修

鈴木修徳

眠れる預言者

山首 鈴木正修

◆ 仏教漫画『日蓮さま』・④5 四条金吾への手紙

◆ 四 条 金 吾

◆お寺の本棚

◆常寂光土への誘い (42)

◆のりのね体験

◆支院だより

◆福祉のひろば

○幸せのお手伝い

○昭徳会・第18回福祉実践発表会を法音寺本堂で開催

○日本福祉大学・東京2025デフリンピックで本学卒業生が世界に輝く活躍を見せました！

◆幸せの種まき／編集後記

◆連載まんが・ひまわり・156
もう一度会いたい

◆令和8年・法音寺年間行事のご案内

表紙・扉・12頁～31頁・裏表紙・・梅田雅臣氏撮影

信仰の指針.. 加納将人氏撮影

表紙写真・胡蝶ラン

吹^ふく風^{かぜ}は

心^{こころ}にそわぬ

事^{こと}もあらむ

なびく柳^{やなぎ}の

す^すがた尊^{たうん}し

『二祖^そ宗^{そう}玄^{げん}大^{だい}徳^{とく}御^ご詠^{えい}』



春ラン



信仰の指針

地^じ涌^ゆ

菩薩たらんとの

志を持ちましよう

日教五



新年のご挨拶

鈴木正修 五

令和八年丙午正月を迎え、皆さまに心より新春のお慶びを申し上げます。
近年、健康寿命という言葉がよく使われます。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことです。男性が72・57歳、女性が75・45歳で、それぞれ平均寿命との差が男性8・49年、女性11・63年です。この差が「不健康な期間」となります。
健康寿命を延ばすには、一般的に禁煙、節酒、バランスの良い食事、適

度な運動、十分な睡眠、ストレスをためないなど、さまざまに言われています。最近ある週刊誌に「老いの極意」という特集があり、その中にコメディアンで今なお現役で活躍中の94歳・大村崑さんの話が紹介されています。「日常で気をつけていることはいろいろあるが、特に『怒らないこと』を心掛けている」と語られています。

「喜劇人で短気で怒る人はみんな早世しています。藤山寛美は60歳、榎本健一先生は65歳、三波伸介は52歳で亡くなりました。森繁久彌先生は92歳まで現役を続け、96歳で亡くなりました。本当に怒らない人でした。僕は94歳になって、森繁のおやじさんの現役年齢92歳を抜きました。おやじさんのような穏やかな性格を心掛けて、96歳も抜きたいと思っています」

聖路加国際病院の日野原重明先生は、105歳で文字通り天寿を全うされました。先生は心と身体を健やかに保つために日々実践されていたことを著書に記されています。その中で私の目に留まったのが「怒す勇氣を持つ」という言葉です。

ある時、先生が大切にしていたものを7歳のお孫さんが壊してしまい、怒りのあまりきつく咎めたそうです。すると「わざとやったわけではない」とでも言うようにキツと睨み返され、可愛いお孫さんにこんな敵意に満ちた目をさせてしまったことにショックを受けられました。「こちらが怒れば相手も怒る。孫を叱りつけるべきではなかった。もっと愛情をもって接するべきだった」と反省され、それ以来「怒す勇氣」を持つように努められたそうです。

先生は、一般によく使われる「許す」や「赦す」よりも、「怒す」という漢字に「ゆるす」ことの本質的な意味を感じておられました。

「怒す」には単にゆるすというだけではなく、「相手の立場や心情を思いやってゆるす」という意味合いがあります。

日野原先生は次のように述べておられます。

「怒すのは相手のためだけではなく、自分のための行為でもあるのです。怒せない心を持ち続けるのはしんどいことです。だから怒すことで、私達

は心穏やかになれるのです」

また別のところで、先生はこうも語られています。

「誰しも頭にくることはあるものです。そんな時は、深く息を吸ってそれを吐き切るといいです。気分転換に歩くのも特效薬になります。どちらも交感神経の興奮を抑える効果があるのです」

先生は普段から「長息は長生きにつながる」とオペラのアリアを歌うような呼吸法を取り入れておられました。近年、深い呼吸法や瞑想は心身を整え、ストレスから回復させる効用があることが科学的に検証されています。最近では若い方々の間でマインドフルネスとして知られており『グル』や『アップル』といった大企業で社員教育に取り入れられています。世の中にはさまざまな健康法がありますが、私はまず心を第一に考えるべきだと思います。今日一日を感謝と堪忍、思いやりの心で過ごし、行住坐臥にお題目を唱えること、これに勝る健康法はないと思います。

皆さまの本年のご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

ふゆ かなら はる 冬は必ず春となる

鈴木修徳

あたらし とし むか みな こころ しんしゅん ようこ
新しい年を迎え、皆さまに心より新春のお慶びを申し上げます。また、昨年中は多くの
かたがた せわ
方々にお世話になり、ここに厚く御礼申し上げます。

にちれんだいしょうにん
日蓮大聖人の御遺文（妙一尼御前御消息）には、次のように記されています。

ほけきょう しん ひと ふゆ かなら はる
「法華経を信ずる人は冬の如し。冬は必ず春となる。未だ昔より聞かず見ず、冬の秋と返
れる事を。未だ聞かず、法華経を信ずる人の凡夫となる事を」

きせつ いま き こころ かん かつ おも
季節だけでなく、心まで冬のように感じる方もあるかと思ひます。しかし、信心をしつ
かりと持ち、お徳を積んでいけば、必ず春を迎えることができます。

ごかいさんしょうにん すぎやませんせい
御開山上人を杉山先生（始祖安立大法尼）に引き合わせた祖父江妙綱法尼は、肺病を患
い、まさに人生の冬の只中にありました。しかし、杉山先生との出会いによって、その人
生は春へと転じたのです。

『安立行(下)』 145〜150頁に次のように記されています。

「よく聞いてくださいよ。本来ならばあなたは、すでに死んでいる方なのですが、徳の力で今日まで生きていられたのです。あなたが今死んで、生まれ変わるとしたら何になると思われますか。鏡で自分の顔を見てご覧なさい。きっと蛇だと思えますよ。(中略) あなたはとても良い、金の魂をお持ちです。あなたはこの世に、金をもうけに生まれて来たのではありません。苦しんでいる人々を濟度するために出て来られたのです。それを知らずに損得ばかり考え、ノミの玉子みたいな小さな心になっていたので、病氣ばかりするのです。小さい気になって、クヤシイクヤシイという心を遣う者は皆、蛇になるのですよ」

つなは、恐ろしさに身も縮む思いでたつの言葉を聞いていた。

…私は人に負けることが大嫌いだ。何事でも私より上手にやる人がいれば目を吊り上げて、くやしい、負けたくないとしたか思わなかった。人から指図されることも我慢ならなかった。それがすべて蛇になるための種まきであったというのか。もしも、もしもこの方にお会いしないまま死んでいたら…何と恐ろしいこと。蛇などに生まれたくない。蛇になるのはいやだ！…

つなは、心こころの中で叫なんでいた。

「あなたは医者いしやに見離みはなされた方かたです。死しんだ氣きになつて私わたくしの話はなしを聞ききなさい。今いますぐ死しぬのと、健康けんこうな体からだになつて未来みらいに極樂ごくらくに行いくのとどちらがよいですか。聞きくまでもないですね。どんな人ひとでも極樂ごくらくに行いきたいに決きまつています。ただ、普通ふつうに生いきているだけでは極樂ごくらくには行いけませんよ。極樂ごくらくに行いくためには徳とくを積つまねばなりません」

「徳とくを積つむとは…」

「世よのために働はたらく、人ひとさまの便利べんりを圖はかるようにするのです。わかりますか。わかつただけずつでいいですから、実行じっこうしてください」

(中略ちゅうりやく)

たつから教おしえられた、「ここにゐる時ときだけでなく、どこでも人ひとを喜よろこばせてください。自分の病氣びょうきが治なおりたいと思おもうなら、人ひとの苦くるしみを先さきにとつてあげなさい」という言葉ことばを実行じっすべく、家いえに歸かえつても、弱よわった体からだを乳母車うばぐるまに乗のせてもらい、夫おつとに押おしてもらつて村むらをまわり、道端みちばたで遊あそぶ子こども達たちにお菓子かしを配くばり、病人びやうにんや難儀なんぎをしている人々ひとびとにもお菓子かしを手渡てわたしながら、たつから聞きいた話はなしを繰くり返かえし伝え、「心こころを廣ひろく持もつて精神修養せいしんじやうようをしてください。心こころの持もち方かた一つで、死しぬのを待まつばかりであつた私わたしが、ほら、この通とおり元氣げんきになつたので

すよ」と言いって歩あるいた。

「おかげさまで痛いたみがなくなりました」

「とても気き分ぶんがよくなりました」

と、つななに礼れいを言いいに来くる人ひとも次第しだいに出でてきた。

祖父江先生そふえせんせいはその後ご、杉山先生すぎやませんせいの右腕みぎうでとして活躍かつやくされ、多くの人々おほひとびとによい教おしえを伝つたえられまました。

世の人よひとよ幸さちをねがわば人ひとにまづ

めぐみて幸さちのたねをまかなむ

（『御開山上人御詠集』62頁）

季節きせつは巡めぐり、冬ふゆもやがて春はるとなります。しかし、人生じんせいの春はるは、法華經ほけきょう・三徳さんとくの教おしえを聞きき、それを実行じっこうするところに訪おとずれるのです。

皆みなさまの御多幸ごたこうをお祈いのり申もうし上げあげます。

朝のこない夜はない

山首 鈴木正修



眠れる預言者

退行催眠（前世療法）によって前世を知ること、
現在抱えている悩みや苦しみの原因が明らかになり、
その解消につながるということを先月号で紹介しました。

今回は前世療法の本家本元とも言える人物、エドガー・ケイシーを紹介します。

エドガー・ケイシーはケンタッキー州の貧しい農家に生まれました。21歳の時に喉頭炎になって声が出なくなりしました。その時にレインという催眠術師に催眠術をかけてもらい、喉頭炎が治りました。それから不思議なことが起きました。ケイシーが催眠状態に入っ



ている時に病人のことを聞かれると、その病人の肉体
の状況を透視し、その原因と治療法を明らかにするこ
とができるようになったのです。人はいつしかケイシ
ーのことを「眠れる預言者」と呼ぶようになりました。
この肉体を透視することをフィジカル・リーディング
と言います。

一つ有名な話を紹介します。

アラバマ州セルマのある少女が精神錯乱状態になり、
精神病院に入れられました。どうにかして治したいと
思った両親がケイシーのところに相談にきました。ケ
イシーはいつものように横になって催眠状態に入りま
した。両親が少女の名前を言って「精神の状態がおか
しいです」と相談すると、ケイシーは透視をして「こ
の女の子の歯茎に親知らずが一本食い込んでいる。そ



れが脳神経を侵している。この歯を抜けば、この子はすぐに正常に戻る」と言いました。その後、歯を抜くとすぐに少女は正常な状態に戻ったということです。

また遠隔透視もできたといえます。ケイシーは国内はもちろん、アメリカにしながら、国外にいる人のことも透視できたそうです。例えば対象が私だったとすると、「鈴木さん、今日そちらは風が強いですね」とか、「あなたの横には誰々がいて、あなたの病いが治ることを祈っていますね」などと言いついて当たっています。それによってケイシーの透視の真実性が増したということです。

このようなケイシーの透視能力が次第に知られるようになって、金儲けに利用しようという者が現れてきました。ある時、「競馬の勝馬を教えてください」と依頼



する人がいました。これは成功もするけれど、失敗もするという結果でした。普通の予想屋と変わらない程度でした。そういう時は催眠状態から目覚めた時にとても疲れていたそうです。エネルギーを消耗して、とても不快感が残ったそうです。

また「テキサスで石油事業をやらないか」という話もありました。「油田のありかを透視してくれ」というのです。これは全く良い結果を得られませんでした。結果的にケイシーはこういう透視をすると、不確かであると同時に、すごく疲れることがわかりました。自分の能力は人を助ける時にだけ、確実に信頼するに足る。金儲けを目的とした時には力を発揮しない」と実感したといっています。



【前世の発見】

ケイシーが初めてライフ・リーディング（前世透視）を行ったのは、全くの偶然によるものでした。依頼者のホロスコープ（個人の誕生時の天体配置図で占星術のもとになるもの）を読みとるための透視を行っていたときに、その状況に遭遇したのです。1923年11月11日、ケイシーの故郷であるオハイオ州デイトンで、それは行われました。依頼者は、地元の実業家、アーサー・ラマーズという人物でした。ラマーズはリーディングの最中に「自分は前世で僧侶であった」と語り出したのです。ラマーズの依頼したホロスコープの透視とはかけはなれたものでした。

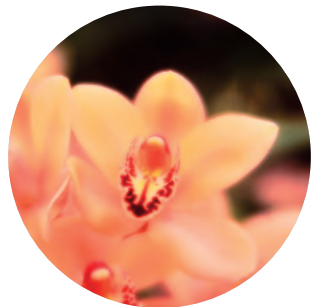
この時、最も驚いたのはほかならぬケイシー自身でした。というのも、彼は輪廻転生を認めない敬虔なキ



リスト教徒きょうとだったからです。キリスト教きりすとうきょうでは、人は死し後ご、神かみの最後さいごの審判しんぱんを待つまちのみで、生まれ変わるうまれかわること
はないとされているのです。

しかしその後ご、ケイシーが聖書せいしよを詳しく調べたところ、かつては「人間にんげんは生まれ変わるうまれかわる」と記しるされていたことが判明はんめいしました。それが、ある宗教会議しゅうきょうかいにおいて聖書せいしよが改訂かいていされ、その記述きじつが削除さくじよされたそうです。その理由りゆうは、神かみへの信仰心しんこうしんを強めるためだったそうです。ケイシーはこの後あと、一気に生まれ変わりを信じしんじ、積極せつぎよく的にライフ・リーディングてき（前世透視ぜんせとうし）を行うおこなうようになっ
ていきます。

ケイシーは自らの前世ぜんせを透視とうしした際さい、古代ペルシャ時代じだいに「ユートル」という部族ぶぞくの族長ぞくちやうであったことを知りました。その時の彼かれは有能な霊能者れいのうしやであり、複数ふくすう



の病院びょういんを建てたるなどの活動かつどうを行おこなっていたといいます。
その時ときの人格じんかくが現在げんざいの彼かれに強つよく影響えいきやうを与あたえていること
がわかりました。

【死後しごの世界せかいの存在そんざい】

自分自身じぶんじしんの前ぜん世せを見みたケイシーですが、それでも彼かれ
は、魂たましいが死しんだあとも本ほん当とうに存そん続ぞくするのたしかを確たしかめて
みたいと考かんえて、ある日ひ、ウエスタン・ユニオン電報でんぽう
電話局でんわきょくを經けい営えいする実業家じつぎやうかであり友人ゆうじんでもあるM・B・
ワイリックにこかう語かたりました。

「どちらか先さきに死しんだ方ほうが、あの世よから必かならず連れん絡らくを取と
るようになししよう」

ケイシーにとっては冗談じやうだん半はん分ぶんの提てい案あんでしたが、その
後ご、ワイリックが先さきに亡なくなりました。



そんなことも、すっかり忘れてしまったある日、ケイシーは自宅の居間でラジオを聞いていました。すると、何となく部屋の中に誰かがいるような感じがしました。ふとラジオに目をやると、ラジオの前に男が座っているように見えました。その男は数年前に死んだ友人のワイリックだったのです。ワイリックは微笑みながら、「人格はやはり続くんだよ」と言いました。ケイシーはしばらくの間、椅子に座ったまま動けなくなりしましたが、やっとのことで椅子から立ち上がり、ラジオを消して逃げるように妻のいる2階のベッドルームへ行きました。ケイシーの妻が「ラジオを消してこなかったの？」と言いました。それでケイシーは、今も階下から聞こえてくるワイリックの声が妻にも聞こえているのだとわかりました。自分だけの幻覚や幻



聴^{ちやう}などではなかったのです。最後^{さいご}にワイリックがケイ
シーに告^つげました。

「これでわかっただろう。死^し後の世^せ界^{かい}はあるんだよ」
この出来事^{できごと}を通^{つう}じて、ケイシーは死^し後^ごも人^{にん}間^{げん}の魂^{たましい}が
存在^{そんざい}し続^{つづ}けることを確^{かく}信^{しん}したといいます。

【ライフ・リーディングの事例^{じれい}】

ケイシーのライフ・リーディングを受^うけた人^{ひと}は、約^{やく}
2500人^{にん}にのぼるといわれています。さまざま^じな事^{こと}
例^{れい}がありますが、今^{こん}回^{かい}はそのいくつかを紹^{しょう}介^{かい}します。

ある生^うまれつきの目^めの見^みえない大^{だい}学^{がく}教^{きやう}授^{じゆ}がライフ・リ
ーディングを受^うけたところ、紀^き元^{げん}前^{ぜん}1000年^{ねん}頃^{ころ}のペ
ルシャにおいて、赤^{あか}く焼^やけた鰻^{こて}で敵^{てき}の目^めを潰^{つぶ}す部^ぶ族^{ぞく}の
一^{いち}員^{いん}だったことが透^{とう}視^しされました。この行^{こう}為^いがカルマ



(因果)となり、今世で彼の視力を奪ったのかもしれない、ということです。

法音寺の始祖・杉山辰子先生も、これに似たことを語られたことがあります。ある時期、杉山先生は視力を失われましたが、こうおっしゃいました。

「これは過去世、私が武士だった時代に、弓で人の目を射抜いたことがある。その因果によって、私はある時期から目が見えなくなる。しかし、私は功德によって、その因果を消滅させ、また見えるようになるから、心配にはおよびません」

また、ニューヨークで手のモデルとして活躍している女性がライフ・リーディングを受けたところ、彼女



は過去世かこせにおいて修道女しやうどうじよであり、その時とき、人ひとが嫌いやがる
ような手てを汚けがすような仕事しごとを率先そつせんして行おこなっていたこと
がわかりました。その善よきカルマの結果けっかとして、彼女かのじよ
は美うつくしい手てを持ち、手てのモデルとして成功せいこうをおさめて
いたのだそうです。

ケイシーによると、ある一生いっしやうで努力どりよくして修得しやうとくしたも
のは、決して無駄むだにはならないといひます。また幼少ようしやう
期きから天才てんさい的な技量ぎりやうを發揮はつきする人ひとがいるのは、過去世かこせ
の積つみ重ねかざによるものだというのです。

たとえば、モーツアルトです。なんと5歳さいの時ときにピ
アノ協奏曲きやうそうきよくを作曲さつぎよくしたといひます。

19世紀せいの天才てんさい数学者すうがくしやガウスは、2歳さいの時ときに父親ちちおやが従
業員ぎやういんの給与計算きやうよけいをしていひるのを見て、「お父さん、間ま



違^{ちが}っているよ」と指摘^{しでき}したと伝^{つた}えられています。これらはそのよい例^{れい}だと思^{おも}います。

また、こんな話^{はな}もあります。アメリカ・ロサンゼルスに住^すむ6歳^{さい}の少年^{しょうねん}レイモンド君^{くん}は、それまでピアノに触^ふれたことがなかったにもかかわらず、突然^{とつぜん}流麗^{りゅうれい}なジャズのメロディーを弾^ひき始め^{はじ}めました。驚^{おどろ}いた父親^{ちちおや}が「どうしたんだ?」と尋^{たず}ねると、レイモンド君^{くん}は「指^{ゆび}が自然^{しぜん}に動^{うご}くんだ」と答^{こた}えたそうです。それから、レイモンド君^{くん}は一日^{いちにち}五時間^{ごじかん}ピアノを弾^ひき続^{つづ}けました。それが次第^{しだい}に個性^{こせい}的なジャズの演奏^{えんそう}スタイルになつていったのです。ジャズに詳^{くわ}しい人^{ひと}がその演奏^{えんそう}を聴^きいて、「これは1943年に39歳^{さい}で亡^なくなったファッツ・ウオーラーの弾^ひき方^{かた}だ。いや、もう、ファッツ・ウオーラーそのものだ」と言^いいました。こうして、「この子^こ



はファッツ・ウォラーの生まれ変わりなのでは」と
言われ、アメリカ中の人気者となったのです。

ちなみに、ファッツ・ウォラーが亡くなったのは
1943年。レイモンド君がピアノを弾き始めたのは
1971年でした。レイモンド君の父親はこの出来事
を本にまとめ、後にそれが映画化されました。

【ソウルメイトと魂のつながり】

ケイシーの話には、ほかにさまざまな興味深い話
があります。その中の一つに「ソウルメイト」という
概念があります。

ソウルメイトとは、魂の深いつながりを持つ伴侶や
仲間のことを指します。つまり、魂同士に強い絆があ
るということです。伴侶であれば俗に言う「赤い糸」



で結むすばれているということ。中なかには、5人、10人、20人といった魂たましいのグループがあり、ある時代じだいに、そして次つぎの時代じだいにも、共に生まれ変わる人達ひとたちがいるといいます。

こうした魂たましいのグループは、カルマ（因果いんが）の問題もんだいをともに解決かいけつする仲間なかまであり、同じ目的もくてきを持って生まれ、それぞれの役目やくめを果たはすために転生てんしょうしてくるのだそうです。

法華経ほけきょうを信じ実行じっこうする法友ほうゆうは、ソウルメイトの関係かんけいと言いえるかもしれません。

【輪廻りんねからの解脱げだつと選択せんたく権けん】

ケイシーがライフ・リーディングを施ほこした約やく2500人のうち、18人には大いなる存在そんざいから、自らみずかが望のぞま



ない限り、もう地球に生まれ変わる必要はない。という選択権が与えられていたといえます。つまり、輪廻の輪から解脱している人々です。

ケイシーのライフ・リーディングの記録はすべて現在も残されており、その18人は「不要なる転生」という項目に分類されています。彼らには、以下の三つの共通点があるとされています。

一つ目は、特別な聖人ではなく、ごく普通の人であること。

今世で与えられた課題を真摯に受け止め、それに全身全霊で向き合っている人々です。困難から逃げず、誠実に問題を取り組む姿勢が特徴です。

二つ目は、職業を通して自己を磨き、社会に貢献していること。



職業意識や技術を高めることで自己成長を遂げ、さらにその働きによって周囲の人々を幸せにしています。医師、技術者、教育者など職業はさまざまですが、いずれも自らの仕事を通じて社会貢献をしているのです。三つ目は、奉仕の精神を持っていること。これが最も重要な共通点です。

法華經的に言えば、常に菩薩行を実践している人です。人の幸せのために尽くすことを第一に考え、利己的な欲望や興味をすべて捨て去っているのです。

これらのことが、地球への再生を必要としないと考えた18人に共通していたのです。

またケイシーは次のように語っています。

「18人は、地上に戻らなくてもよい」と言われている。



しかし、もう戻ることはない。とは言われていない。
地上の人々の力になりたいと願う者は、再び戻って
もよい。ということなのだ。最終的な選択権は本人に
委ねられているのである」

お釈迦さまは、法華經法師品第十において次のよう
に述べておられます。

「葉王、当に知るべし、是の人は自ら清淨の業報を捨て、
我が滅度の後に於て、衆生を愍むが故に惡世に
生れて広く此の經を演ぶるなり」

『法華三部經略義』卷三第十章・法師品（144頁）

（葉王菩薩よ、よく知りなさい。この人へ法華經を深く
信じ、実践する人）は、清淨なる功德の身を捨てて、



末^{まつ}法^{ぽう}の世^よに生^いきる人^{ひと}々^{びと}を慰^{あわれ}むが故^{ゆえ}に、とも^{とも}に苦^{くる}しみ、
とも^{とも}に悩^{なや}みながら、多^{おほ}くの人^{ひと}々^{びと}に法^ほ華^け経^{きやう}を弘^{ひろ}めるた
め、敢^あえてこ^この世^よに生^うまれてくるのだ

日^に蓮^{ちん}聖^{しやう}人^{にん}は「地^じ涌^ゆの菩^ぼ薩^{さつ}に非^{あや}れば唱^{とな}えがたき題^{だい}目^{もく}」
とおっしゃっています。今^{いま}、お題^{だい}目^{もく}の信^{しん}仰^{かう}をし、それ
を弘^{ひろ}める人^{ひと}は、ケイシーのライフ・リーディングの18
人^{にん}に勝^{まさ}るとも劣^{おと}らない如^{にやう}来^{らい}の使^し者^{しや}であらうと思^{おも}います。



謹賀新年

日蓮宗

法音寺

よい教えを伝えよう

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

令和八年元旦

講話日・毎月七日・十七日・二十七日



内局委員会

評議員会



進師法縁法音会

檀信徒代表者会

全国信教師会

日蓮宗
大乗山

法音寺

講話日：毎月7日・17日・27日（午後1時30分）

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3

TEL. 052-831-7135 FAX. 052-831-9801

支院名・主管者(担任)名	住 所・T E L	毎月の講話日
大阪支院 田中常行	大阪府大阪市此花区西九条3-4-41 〒554-0012 ☎(06)6465-5051	第2日曜日 23日
福井布教所 田中常行	福井県あわら市春宮3-28-2 〒919-0632 ご連絡は大阪支院へ	3/14・7/19 ・9/5
和泉支院 上田常信	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404 〒598-0091 ☎(072)466-3112	第1日曜日 14日・22日
神戸支院 田中常行	兵庫県神戸市兵庫区五宮19-17 〒652-0007 ☎(078)360-4884	第2土曜日 21日
淡路支院 田中常行	兵庫県南あわじ市神代国衙910 〒656-0455 ☎(0799)42-0175	5・15・25日
岡山支院 大本信行	岡山県岡山市南区若葉町1-16 〒702-8047 ☎(086)262-0818	第1日曜日 7日・23日
高知布教所 山本雅子	高知県高知市上町5-5-39 〒780-0901 ☎(088)823-1983	12日
福山支院 宮崎良祐	広島県福山市西町3-19-5 〒720-0067 ☎(084)921-3078	第1日曜日 第3日曜日
三原支院 森野智広	広島県三原市皆実2-9-22 〒723-0052 ☎(0848)62-5087	第2土曜日 第4日曜日
安芸津支院 大本信行	広島県東広島市安芸津町三津3765-3 〒739-2402 ☎(0846)45-4012	第1土曜日 第4日曜日
坂支院 三宅善祐	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12 〒731-4313 ☎(082)885-1064	第1、又は 第2日曜日
福岡支院 大庭持念	福岡県福岡市早良区城西2-11-37 〒814-0003 ☎(092)821-7975	第1日曜日 第3日曜日 15日
壱岐布教所 三好敏博	長崎県壱岐市石田町池田東触1112 〒811-5221 ☎(0920)44-5445	13日・23日
筑後布教所 蒲池厚	福岡県筑後市大字西牟田5954-1 〒833-0053 ☎(0942)53-7273	第2日曜日 第4日曜日
天草布教所 吉屋かおる	熊本県上天草市大矢野町維和1502-1 〒869-3604 ☎(0964)58-0742	1日
田川支院 手嶋敬徳	福岡県田川市春日町7-30 〒826-0026 ☎(0947)42-1819	第2日曜日 第4日曜日
名古屋地区 前原祐学	愛知県名古屋市中区昭和区駒方町3-3 〒466-0832 ☎(052)831-7135	7・17・27日
瀬戸布教所 高原吉一	愛知県瀬戸市東本町2-20 〒489-0816 ☎(0561)85-6860	9・19・29日
亀岡布教所 田中節子 田中悠子 山藤明江 嶋崎婦美子	京都府亀岡市篠町篠牧田73-1 〒621-0826 ☎(0771)25-7807	第2月曜日 第4日曜日

※講話日は行事によって変更になる場合があります。開始時間はお問い合わせください。

謹 賀 新 年

支院名・主管者(担任)名	住 所・T E L	毎月の講話日
大乗山 泰明寺 <small>すず き しゅう とく</small> 鈴 木 修 徳	愛知県名古屋市中村区名駅2-37-3 〒450-0002 ☎(052)581-2069	5日・20日
開 基 堂 <small>たか なみ じ せい</small> 高 浪 慈 成	愛知県江南市寄木町天道18 〒483-8184 ☎(0587)53-5436	10日
東 京 支 院 <small>いの はら ぜん しゅう</small> 猪 原 善 昭	東京都練馬区谷原2-6-37 〒177-0032 ☎(03)3904-1251	第1日曜日 15日 第4土曜日
静 岡 支 院 <small>おお ぼ えん しゅう</small> 大 庭 圓 昭	静岡県磐田市城之崎4-7-3 〒438-0084 ☎(0538)32-6625	2・12・22日
豊 川 支 院 <small>み やけ ぜん ゆう</small> 三 宅 善 祐	愛知県豊川市中野川町1-26-3 〒442-0885 ☎(0533)86-4704	4日・20日
安 城 支 院 <small>しま だ ち きょう</small> 島 田 知 教	愛知県安城市新田町小山31-25 〒446-0061 ☎(0566)76-2504	第1、又は、 第2日曜日 18日・28日
明 川 支 院 <small>もう り ぎょう とく</small> 毛 利 行 徳	愛知県豊田市明川町堂ノ脇1-2 〒444-2601 ☎ご連絡は本山事務局へ	11日 第4土曜日
佐 屋 支 院 <small>むら かみ ぜん りゅう</small> 村 上 善 立	愛知県愛西市大井町浦田面296 〒496-0921 ☎(0567)32-1825	4日 第2日曜日 24日
一 宮 支 院 <small>すず き しゅう かん</small> 鈴 木 正 観	愛知県一宮市大江1-7-4 〒491-0851 ☎(0586)72-7208	5・15・25日
西 春 支 院 <small>わた なべ えい がく</small> 渡 辺 英 覚	愛知県北名古屋市中九之坪東ノ川20 〒481-0041 ☎(0568)22-5813	2・12・22日
岐 阜 支 院 <small>まえ はら じゅん とく</small> 前 原 順 徳	岐阜県岐阜市切通7-15-22 〒500-8237 ☎(058)245-2939	4・14・24日
笠松布教所 <small>いわ た まさ き</small> 岩 田 正 揮	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23 〒501-6042 ☎(058)391-9733	12日
大 垣 支 院 <small>こう むら じゅう おん</small> 香 村 浄 音	岐阜県大垣市宝和町5 〒503-0972 ☎(0584)78-4854	1・11・21日
関 支 院 <small>よし はし けん りょう</small> 吉 橋 顕 良	岐阜県関市西福野町2-15-11 〒501-3244 ☎(0575)22-0776	3・13・23日
平 賀 支 院 <small>ご とう ぜん こう</small> 後 藤 善 晃	岐阜県関市市平賀213-2 〒501-3822 ☎(0575)23-3771	5・15・25日
郡上八幡支院 <small>わた なべ ぎ しゅう</small> 渡 辺 義 彰	岐阜県郡上市八幡町小野721-3 〒501-4221 ☎(0575)65-3933	8日・22日
四 日 市 支 院 <small>そ ぶ え ずいほう</small> 祖 父 江 瑞 法	三重県四日市市赤堀2-4-7 〒510-0826 ☎(059)352-3633	3・13・22日
上 野 支 院 <small>はし もと どう ねん</small> 橋 本 道 念	三重県伊賀市上野向島町3475 〒518-0875 ☎(0595)21-0127	1・11・21日
京 都 支 院 <small>あん どう じゅん ほう</small> 安 藤 順 法	京都府京都市上京区北横町360 〒602-0818 ☎(075)231-3437	1・9・20日
高 槻 支 院 <small>いわ た こう がく</small> 岩 田 孝 学	大阪府高槻市天神町1-9-2 〒569-1117 ☎(072)685-1003	第1日曜日 11日・21日

謹んで新春の お慶びを申し上げます

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

■児童養護施設

駒 方 寮
名 古 屋 養 育 院
名 古 屋 若 松 寮

■障がい児入所施設

小 原 学 園

■障がい者支援施設

小 原 寮
泰 山 寮

■特別養護老人ホーム

安 立 荘
高 浜 安 立 荘
小 原 安 立

■障がい福祉サービス事業

授 産 所 高 浜 安 立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケ ア ハ ウ ス 高 浜 安 立
ケ ア ハ ウ ス 湯 山 安 立

■軽費老人ホーム

ケ ア ハ ウ ス 大 阪 安 立

■養護老人ホーム

養 護 老 人 ホ ム 高 浜 安 立

■自立援助ホーム

慈 泉 寮
か り ん

■保 育 所

駒 方 保 育 園
光 徳 保 育 園
天 王 保 育 園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

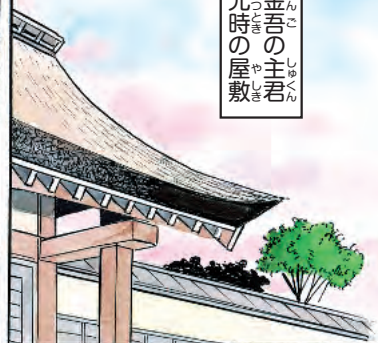
に ち れ ん

日蓮さま

45 し じょう きん こ て が み
四 条 金 吾 へ の 手 紙



四条金吾の主君
江間光時の屋敷



昨日桑ヶ谷で龍象坊殿の
説法中に日蓮の弟子の
三位房がけんかをしかけ
きさまも乱暴狼藉を
働いたといではないか

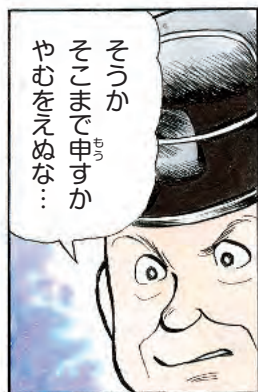




これまでの
法華經の信仰を
捨てることを
誓うのならばここに
とどめてもよい



ええい もうよい
金吾
そなたには特別
目をかけてきた



そうか
そこまで申すか
やむをえぬな…



わたしは法華經を
信仰しておりま
自分の信仰を
わけにはまいりませ

ほかのごとでしたら
なんなりと殿の仰せに
従います ですが
自分の心にそむく
わけにはまいりませぬ



はっ！



四金吾に
閉門謹慎を命ずる
すべての所領を
返上せよ よいな



旦那さま
お上人さまに相談して
みてはいかがですか

金吾はすぐに文を書き
身延に届けさせた



わたしが今から書く
江間殿への陳情書と
ともに 文を金吾殿に
届けていただけますか

もちろんです
お預かりします



四条金吾殿

主君を恨んではなりませぬ あなたが親孝行
できたのは主君がおられたからです

主君にはご恩があります

「信仰がもとで所領を没収されるなら法華經に
対する布施になるので幸せなことです」

と言いつつください

そうすればいつかきつと

主君から勘気が解かれる

日がくるでしょう

日蓮

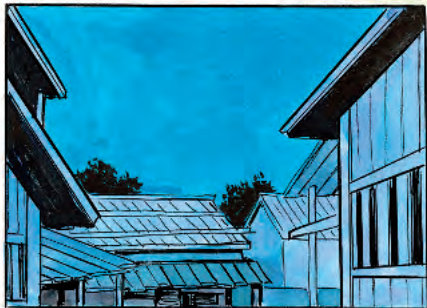
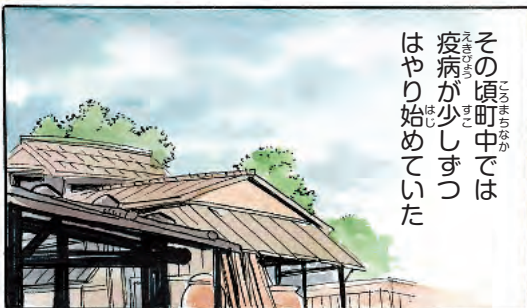


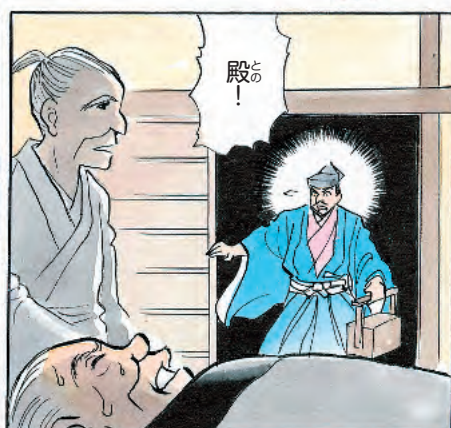
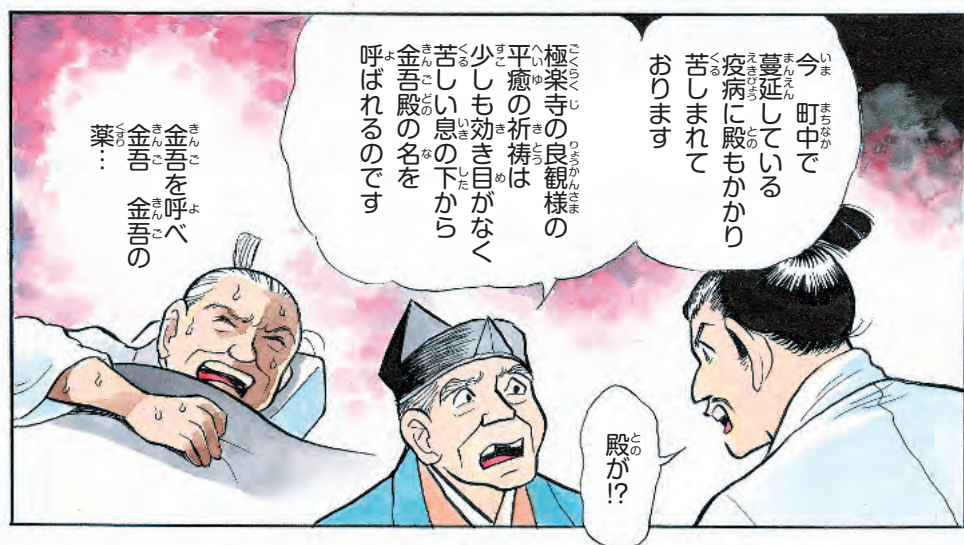
うむ お上人さま
らしい行き届いた
ご指示だ ありがたい

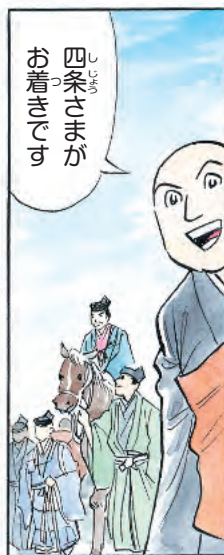
くれぐれも用心を
重ねるようにと
言われました



その頃町中では
疫病が少しずつ
はやり始めていた







お上人さまの
的確な指示と
励ましがあって
わたしは生きのびる
ことができました
感謝して
おります



そついつ
金吾殿
そなたこそ…



龍ノ口でわたしの頸が
討たれそうになった時
ともに死のうとさえ
してくれただけではないか

食べ物もなく
厳しい寒さの
佐渡ヶ島にもたずねてきて
薬まで届けてくれた

何度生まれかわり
死に絶えようと忘れはしない

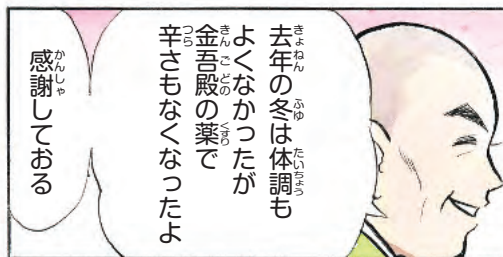


ところで此度も
薬をお持ち
しましたが
体調はいかが
でしょうか



去年の冬は体調も
よくなかったが
金吾殿の薬で
辛さもなくなったよ

感謝してある



ひとひとの
結びつきとは
まことに不思議な
ものだ

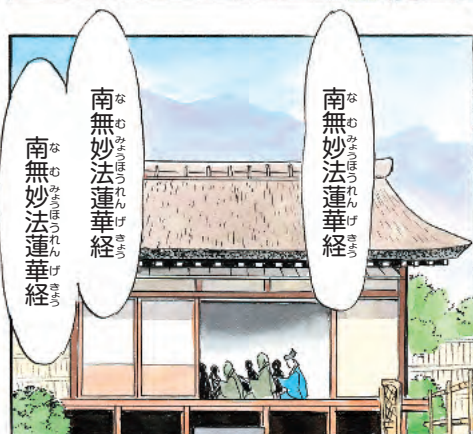
仏さまの
ご意思
なのだ



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



つづく

四条金吾

四条頼基（しじょう よりもと）は、四条中務三郎左衛門尉頼基と称し、時の執権・北条泰時の一族にあたる江間光時の家臣でした。官位である左衛門尉の唐名「金吾」にちなみ、「金吾」とも呼ばれました。

建長5年（1253）、夫婦そろって日蓮聖人に帰依し、文永8年（1271）の龍ノ口法難に際しては、日蓮聖人とともに殉死しようとしたほどの信徒でした。日蓮聖人はその時のことが忘れられないとした上で、『崇峻天皇御書』に「もし頼基が罪深く地獄行きならば共に地獄に行く」と述べています。師弟の情の厚さがうかがい知れます。

また、医薬にも通じており、主君・光時の重病を平癒させた功績により、甲斐国・内船（現在の山梨県南巨摩郡南部町）の地を与えられました。晩年には、日蓮聖人の看護にもあたり、聖人の入滅後は、身延に近い内船の地に居を構えました。

建治3年（1277）、頼基は邸内に持仏堂を建立し、これが現在の正住山内船寺の起源とされています。



正住山内船寺 身延線内船駅から徒歩15分（Wikipediaより）



お寺の本棚

『村上先生御法話集・第一巻』



人生は仮の宿

この娑婆世界に住める衆生はまたまたかくの如く、苦海という娑婆世界の諸々の憂悲苦悩を逃れて彼の岸という、安楽の場所に

たどりつかんと願望はあれども、無知の悲しさに、その岸のいずこなるかも知らず、なおさらにこれを見て哀れみ給えるみ仏は、その手に持ちたる玩具を捨てよと声の限り呼ばわれども聞かずして、ついには海底の藻屑となるは実に悲しいことであります。この理をよく悟りて、この世の執着たる玩具を手離して、彼の岸に一日一日と近づくように努力すること、まこと人生の真意義を得たるのであります。この理を知らながらも実行のできぬというは実に愚かの極みであって、いかに現世幸福を願うとも、後生の善処を願うとも、それは無理な注文にして、日蓮聖人が「凡そ其の里ゆかしけれども道絶え縁なきには、通う心も疎かに、其の人恋しけれども憑めず」（持妙法華問答鈔）と仰せられし如くであります。また曰く「暮れ行く空の雲の色、有明方の月の光までも、心を催す思いなり。事にふれ折に付けても後世を心にかけ、花の春雪の朝も是を思い、



風騒ぎ村雲迷う夕にも忘るる隙なかれ。出る息は入る息を待たず、何なる時節ありてか『每自作是念』の悲願を忘れ、何なる月日ありてか『無一不成仏』の御経を持たざらん。昨日が今日になり、去年の今年となる事も、是期する処の余命にはあらざるをや。総て過ぎにし方を数えて、年の積るをば知ると雖も、今行末に於て一日片時も誰か命の数に入るべき。臨終今に在りとは知りながら、我慢・偏執・名聞・利養に著して、妙法を唱え奉らざらん事は、志の程無下にあえなし」

（持妙法華問答鈔）と申されし御言の葉、よくよく味わうべきであります。

げにはかなき人生を、法をも信ぜず暮らしたならば、何の甲斐こそあるべきで、暮れ行く日月は悔いの基となるのであります。今年暮れかかりし時にこそ、わが臨終の近づきつつあることを悟りてなおさらに菩提心を増し、この忍土という娑婆世界に生を受けたるを喜び、三千年に一度も値い難き妙法に会えたことを喜び、善事をなして喜び、人を善導しては喜び、堪忍を常に心の守りとして妙法を行住坐臥に唱えるならば、最後臨終のその時に、諸仏・菩薩は手を取りて無上寂光の都に導き給うのであります。されば日々もまた安穩に、子孫繁栄して、一家は必ず栄えること、疑いなきことであります。みなさん最後臨終の時に後悔なきよう、ますます精神修養あらんことをお願い申します。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (42)

—— 妙法蓮華經略義・第一章序品 (3) ——

三、爾そのときにしやくだい釈提桓因しかんにん、其その眷属けんぞく二万まんの天子てんじと俱ともなり。

釈提桓因しかんにんは帝釈天王たいしやくてんのうのこと。当時、インドのバラモン教には九十五種の派があったと言われていますが、皆等しく天に昇ることが目的とされていて、その天という境界において一番偉い方が天帝、即ち帝釈天であると言われています。その天帝をはじめとしてバラモン教の人々も皆、仏さまのみ教えを学ぶべきである、という意味が含まれているのであります。「天子」は天に住んでいる人。

三、復また名月天子みやがつてんじ・普香天子ふこうてんじ・宝光天子ほうこうてんじ・四大天王だいいてんのうあり。其その眷属万まんの天子てんじと俱ともなり。

名月天子みやがつてんじは「月」。普香天子ふこうてんじは「星」。宝光天子ほうこうてんじは「日（太陽）」。これらが人間界を照らす働きをするために仏さまのみ教えを学ぼうと集まって来られたのです。天上界の神さまでも、月や星、太陽も、仏さまのみ教えによって働かなければならないという尊い意味が込められています。

「四大天王」とあります。帝釈天が天上界の一番上の神さまで、四天王はその部下、人々の身の上に善い事の続くようご守護下さる神々です。須弥山しゆみせんを中心として東を受け持つのが持国天王じこくてん、南を受け持つのが増長天王ぞうちやうてん、西を受け持つのが広目天王くわうもくてん、北を受け持つのが毘沙門天王びしゃもんてん、多聞天王たもんてんとも言います。私

どもが日々拝する妙法曼荼羅御本尊の宝塔の四方に坐し、日夜お護り下さっています。

いろいろな神々も、たくさんの眷属と共に聴聞に集まって来られました。

三、自在天子・大自在天子、其の眷属三万の天子と俱なり。

自在天・大自在天はバラモン教において世界創造神とされ、仏教においては仏・菩薩の化身とされています。三万の天子と共に来られていました。

四、娑婆世界の主梵天王・尸棄大梵・光明大梵等、其の眷属万二千の天子と俱なり。

「梵」は穢れを離れて清浄という意。インドの正統バラモン教思想の最高原理を意味します。梵天として人格神的に表象されるようになり、仏教に入っては守護神となりました。天上界の、このように勝れた神々も、万二千という大勢の天子と共に来られていたのです。

五、八龍王あり、難陀龍王・跋難陀龍王・娑伽羅龍王・和修吉龍王・徳叉迦龍王・阿那婆達多龍王・摩那斯龍王・優鉢羅龍王等なり。各若干百千の眷属と俱なり。

海中に棲む生物を支配する龍の王で、神力を持つとされています。

六、四緊那羅王あり、法緊那羅王・妙法緊那羅王・大法緊那羅王・持法緊那羅王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

緊那羅は、天上界に住んで音楽を奏でる神。美しい歌声を持つ歌神とされています。

一七、四乾闥婆王あり、樂乾闥婆王・樂音乾闥婆王・美乾闥婆王・美音乾闥婆王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

乾闥婆は、帝釈天に仕えて音楽を司る神で、それぞれ香を食物にしていると云われる神々です。




一八、四阿修羅王あり、婆稚阿修羅王・佉羅鷲駄阿修羅王・毗摩質多羅阿修羅王・羅睺阿修羅王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

阿修羅は、常に大海の底に棲み、昔の勇将が戦に臨む場合に用いる言葉にもなっているように、鬼神にして、戦いを起こさせる悪魔のような神ですが、やはり、大勢のお供の人々と共に、法華経を聴聞すれば善い人に成れると知って集まりました。

一九、四迦楼羅王あり、大威徳迦楼羅王・大身迦楼羅王・大満迦楼羅王・如意迦楼羅王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

迦楼羅は金翅鳥と訳します。鳥類ですが、空を飛ぶ鳥の中で一番勝れていると云われています〔参考Ⅱ巻一・無量義経第一章徳行品一・二頁〕。

二〇、韋提希の子阿闍世王、若干百千の眷属と俱なりき。



お釈迦さまの信者の一人に頻婆娑羅王びんばしやらという王さまがいて、その夫人を韋提希いだいけと言って、その子を阿闍世あせと言います。この子は心がひねくれていて、初め提婆達多だいただに帰依してお釈迦さまのみ教えが世に弘まることを妨害し、さらに両親を牢獄に閉じ込めて王の位を奪ったという、恐ろしい男であります。しかし結局は、お釈迦さまのみ教えに帰依して弟子となり、大勢の家臣と共に来てみ教えを聞いたと伝えられております〔提婆達多Ⅱ巻三・第十二章提婆達多品・一八七頁〕。

三、
各おのおの仏足ぶつそくを礼らいし退しりぞいて一面めんに坐ざしぬ。

皆、仏さまのみ足に額をつけて礼拝し、み教えを拝聴しようと、一方に退いて坐わっております。

〔妙法蓮華経略義 上巻・七頁〕

福社の ひろば



幸せのお手伝い

アレルギー児の対応
保護者の安心につながる支援

忘れられない、

利用者・家族との出会い

私は現在、児童養護施設の栄養士として勤務しており、子ども達の食に関わる仕事をしています。現施設で栄養士になり1年が経とうとしています。が、それ以前は駒方保育園で調理員として勤務していました。駒方保育園では、離乳食、アレルギー食に対応しており、特に食物アレルギーに関しては何度も研修を受け、勉強をしてきました。近年、アレルギー児は増加しており、血液検査だけでは解明されない症状など複雑化しており、給食

を提供する上で、保護者との面談も必須となっています。

ある男の子はアレルギーが多く、牛乳も魚も食べることができませんでした。保護者であるお母さまは献立をしっかりとチェックし、魚の日は肉料理に変更したお弁当を持参し、副菜も園の給食と同じものが毎回きちんと入っていました。皆と同じものは食べられないけれど、見た目は同じものを食べさせてあげたい。この思いからでした。忙しい毎日の中でお弁当を作るのは大変です。アレルギーが少し改善し、ある種の魚だけは食べられるようになった時、特例として、別の魚を出す

日も男の子用にその魚を一切だけ仕入れできるようにし、個別に作ることにしました。そうすれば、もうお弁当の必要はなくなります。お母さまは「皆と同じものを食べられる」、と大変喜んでくださいました。アレルギーの知識も大変豊富な方で、自分が知らないアレルギー除去商品や代替商品を教えていただき、それらも取り入れるようにしました。男の子は年齢が上がるにつれ、少しずつ食べられるものが増え、卒園間近、ついにアレルギーはなくなりました。卒園式の日、「長い間アレルギーの対応をしてもらい安心して通園できました」という感謝とお礼のお手紙をくださいました。とてもうれしかったです。

アレルギーの対応はとても大変です。現場では常に声をかけ合いながら進めていくため、チームワークが重要です。定期的な面談と職員間のミー

ティングにより情報を共有し、話し合い、進めていくことが保護者の安心と満足につながることを学ぶことができました。これからも利用者さん、職員の声に耳を傾け、学び続けていきたいと思えます。

駒方寮 栄養士 渡邊 幸代



第18回 福祉実践発表会を法音寺本堂で開催



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会 ～「天王保育園」が最優秀賞を受賞～

昭徳会では毎年、各施設が日頃の取り組みの成果を発表する「福祉実践発表会」を開催しています。今年度は保育・児童分野の施設である駒方保育園・光徳保育園・天王保育園・駒方寮・名古屋養育院・名古屋若松寮が、昭徳会の基本理念である「幸福（しあわせ）」の実現に向けて取り組んできた内容を発表しました。法音寺本堂で行われた発表の様子はYouTubeでライブ配信され、昭徳会の職員をはじめ、学生、法音寺関係者、日本福祉大学の教職員など、総勢150名を超える方々にご参加いただきました。

駒方保育園のテーマは「子どもの『なんでだろう』を大切に」。ネットですぐに答えが得られる時代に減少している、五感で感じる「体験」の機会を創出し、子どもの疑問や興味を実際に見て・感じて・体験する経験を通じて、自ら考え、行動し、表現する力を育む取り組みを発表しました。

光徳保育園は日々の生活や遊びから子ども達が世界に興味を持ち、他国の食べ物や戦争など多様なテーマを「学ぶ」経験が、小学校以降の学習意欲の継続につながった事例を紹介。その中で、子どもの人格形成の基礎を培う重要な時期を担う保育職の魅力を発表しました。

天王保育園は園の経営に着目し、「職員が楽しくなければ子どもも楽しくない」という理念のもと、職員全員で働きやすい環境を整え、「人の力を生かす経営（人的資本経営）」を実現するための取り組みを発表しました。

駒方寮は児童養護施設が地域にどう貢献できるかを探り、暗いイメージを払拭し、地域に開かれた存在として気軽に子育て相談ができる居場所づくりをめざした活動を発表しました。

名古屋養育院は未就園で入所する子どもが幼稚園での集団生活に適應できるように

「院内保育」を導入。定着に向けて記録方法や保育内容を改善し、職員の意識向上につなげた取り組みを発表しました。

名古屋若松寮は「ちょっとお耳拝借！（ちょい耳）」という子ども参加型の対話の場を設け、職員との対話を通じて生ま



れる子どもたちの素直な感情や疑問から、社会生活に必要なルールや決まりを学び合い、育ち合う環境をつくった取り組みを発表しました。

どの施設の発表も大変すばらしく、利用者や地域のために尽力する職員の姿に感動するとともに、私自身ももっと頑張らなくては」と身の引き締まる思いになりました。

全施設の発表終了後には会場参加者による投票が行われ、最も印象に残った施設が選ばれました。最優秀賞に輝いたのは天王保育園。理事長より賞状と賞金が贈られました。

施設運営や業務改善に焦点を当てた発表は、他分野の職員にとっても大変興味深い内容だったのではないのでしょうか。来年度は「高齢分野」の発表が予定されています。どのような取り組みが紹介されるのか、今からとても楽しみです。なお、福祉実践発表会の様子はYouTubeでご覧いただけます。ぜひこの機会に、昭徳会の施設の取り組みをご覧ください。



福祉セミナー等実行委員会 委員長（法人本部事務局 事務員）

金子 真帆

東京2025デフリンピックで本学卒業生が世界に輝く活躍を見せました！

～日本福祉大学スポーツ・文化振興課～

2025年11月15日より開催された「東京2025デフリンピック」において、本学の卒業生達が世界の舞台ですばらしい成果を収めました。

男子4×100mリレーでは、坂田翔悟選手（2021年度社会福祉学部卒業）がチームの一員として見事金メダルを獲得。また、個人種目の100mでも堂々の8位入賞を果たしました。さらに、須山勇希選手（2023年度教育・心理学部卒業）は走幅跳で6位入賞、中西椋選手（2022年スポーツ科学部卒業）は三段跳で4位入賞、中村美月選手

（2023年度スポーツ科学部卒業）は女子4×400mリレーで6位入賞と、それぞれ世界の強豪を相手に健闘しました。

デフリンピックは、聴覚に障害のあるアスリート達が世界中から集い、競い合う国際的なスポーツ大会で





す。1924年に始まり、パラリンピックよりも長い歴史を持つこの大会が、2025年に東京で開催されたことは、日本にとっても大きな意義を持つ出来事でした。静寂の中で交わされる熱い戦いは、観る者の心を強く揺さぶり、スポーツの持つ力を改めて感じさせてくれます。

こうした国際大会での卒業生の活躍は、本

学にとって大きな誇りであると同時に、在学生や地域の方々にとっても大きな励みとなります。障害の有無にかかわらず、自らの可能性を信じて挑戦し続ける姿は、まさに本学の建学の精神「如我等無異」にも通ずるものがあると思います。彼らの努力と情熱は、スポーツが持つ普遍的な価値を体現しており、私達一人ひとりに「違い」を超えてともに生きることの大切さを教えてくれます。

本学では今後も、すべての人がスポーツを通じて生きがいを見出し、夢に向かって羽ばたけるよう、環境整備や支援体制の充実に努めてまいります。卒業生の活躍を胸に、これから多様な個性が輝ける学びの場を育んでいきたいと思っています。

スポーツ・文化振興課 藪井 祐明佳



幸せの種まき

今を一生懸命に生きたら
「今日も一日ありがたかった」と
喜びの内に一日が終わります

いいかげんな生き方をしていたら
「あれが心配、これが心配」と
次から次に心配事が出てきます

大乘山 法音寺

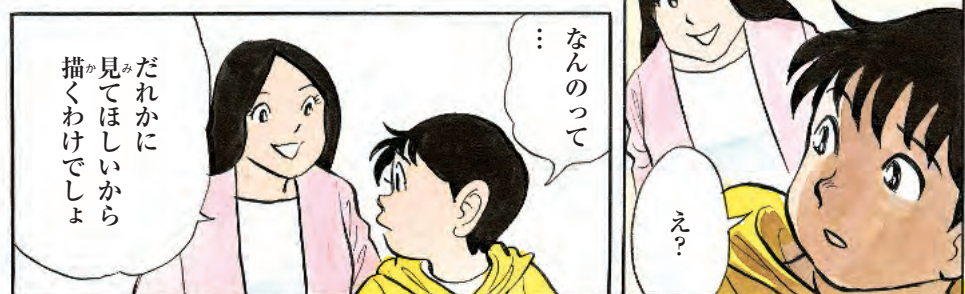
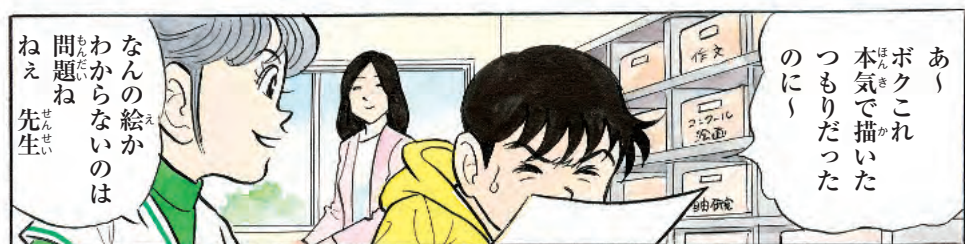


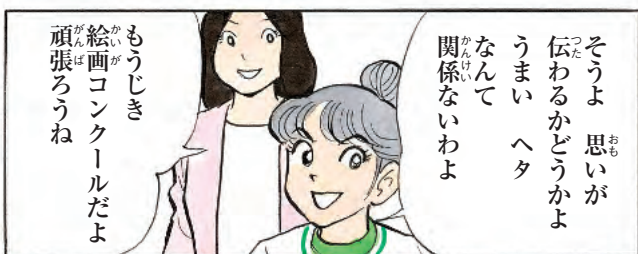
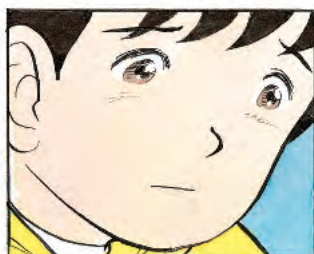
編集後記

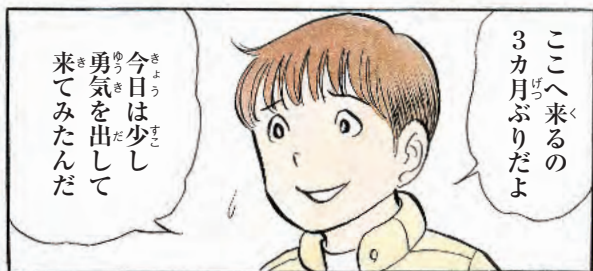
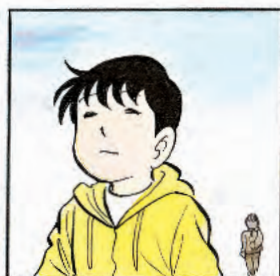
新しい年を迎え、お寺で手を合わせると「今年こそは……と心を引き締めるものですが、その意志は一年を通して継続せず、結局は日々の出来事に心を奪われてしまいます。私達は、限られた人生の時間をいかに生きるかが常に問われているのだと思います。その意味で、法音寺先師のみ教えは私達を導く道標であると改めて感じます。

杉山先生は因果の二法から「種をまかずに花実を求めることはできない」と、日々徳を積むことを奨励されました。村上先生は「無為に暮らせば苦しみは免れない」として、堪忍の大切さを説かれました。さらに、御開山上人は徳積みを継続するための指針として「今日一日」というキーワードを授けてくださいました。日達上人は「生きている間しか徳は積めない」と示唆を与えてくださり、山首上人さまもまた「老若を問わず、待ったなしに死は訪れる」と述べられ、今を大切に生きることを説かれています。

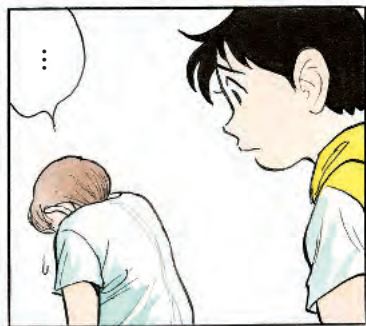
お寺では「三毒（貪り・怒り・愚痴）の社会にいても清らかに咲く蓮の華のような生き方をしましょう」と教えられます。せっかく法音寺に出会った私達ですから、そのご縁を無駄にすることのないようにしたいものです。





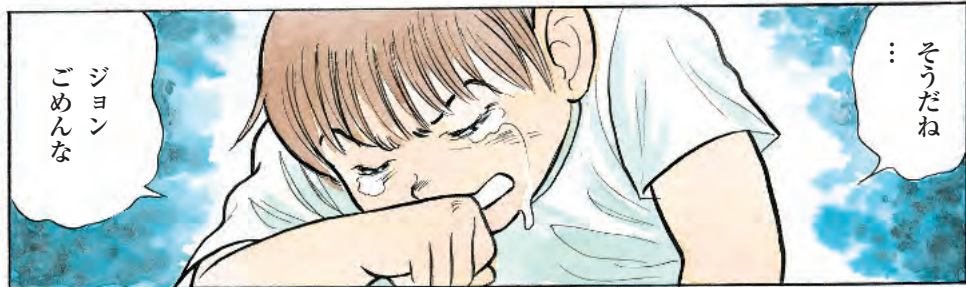


辛いのは大切だった
証拠じゃん
思い出まで忘れる
なんて
ジョン悲しむと
思うよ



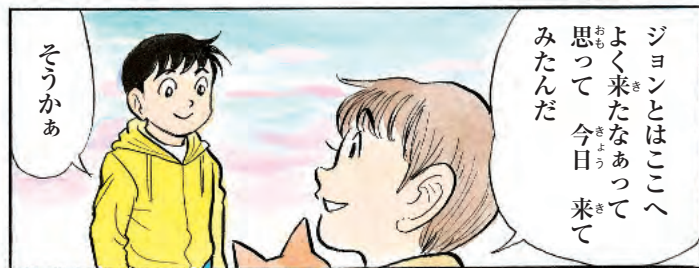
そうだね
...

ジョン
ごめんな



そうかあ

ジョンとはここへ
よく来たなあって
思ってた 今日来て
みたんだ



それでね 忘れる
ことより
少しずつ思い出す
ことにしたんだ

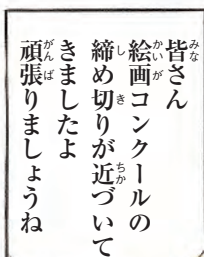
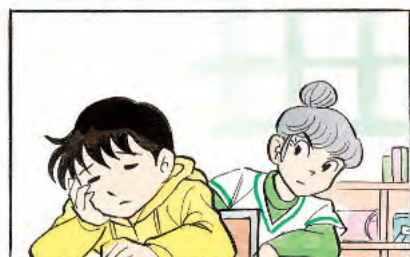
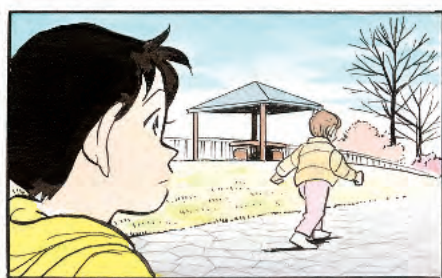
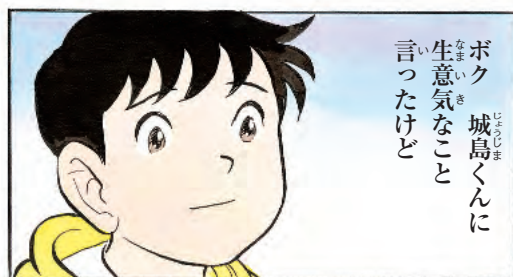
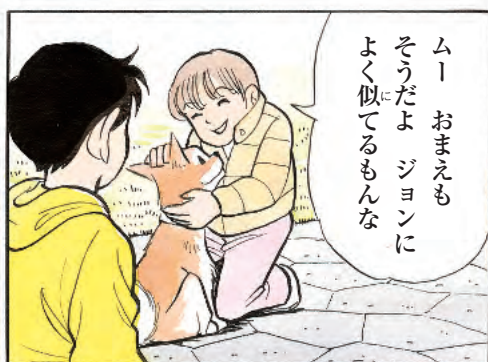
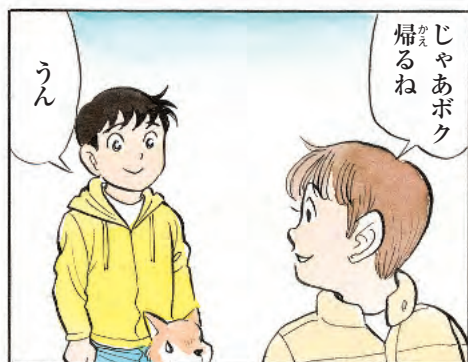
うん それは
いいことだと思うよ

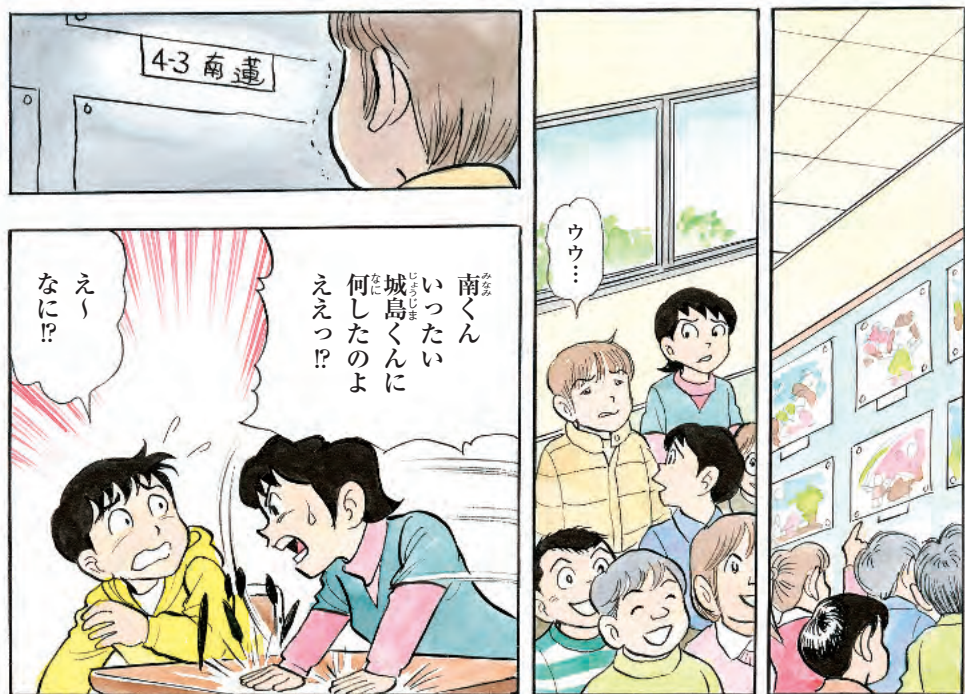
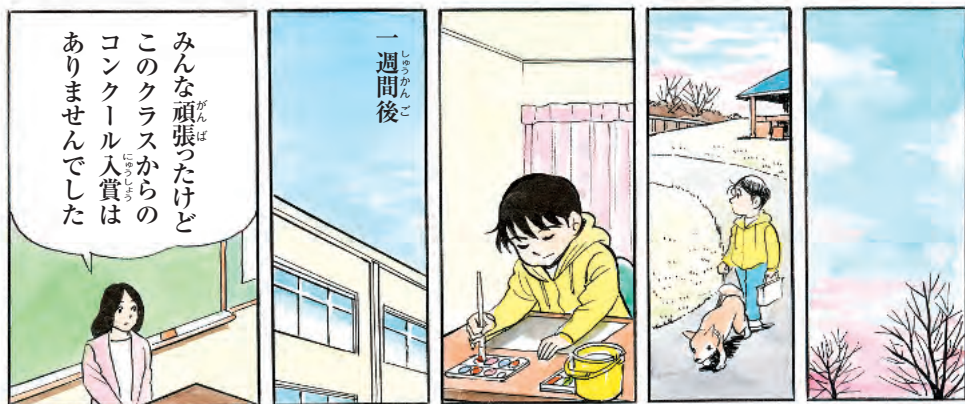


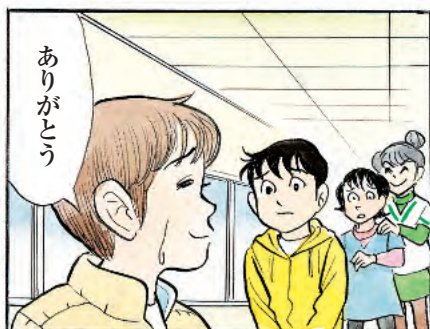
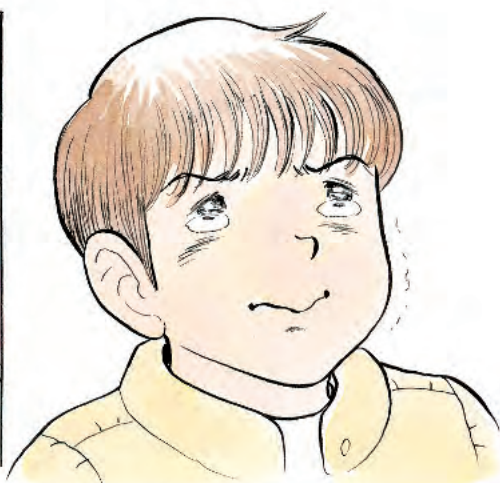
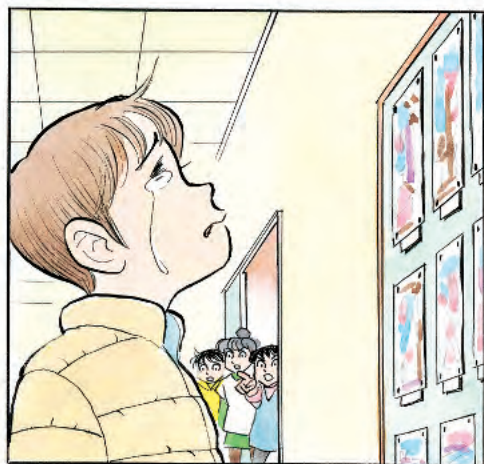
来る途中
ジョンによく似た
犬を見つけて
振り返っちゃった

へへ...









4-3 南蓮

おしまい

令和8年・法音寺年間行事予定表

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
1	1	木	新年祝祷会	7	7	火	講日
	2	金	〃		17	金	講日
	3	土	〃		19	日	ほうろく加持・虫封じ祈禱
	7	水	初講日・交通安全祈願会		26	日	墓経
	17	土	講日		27	月	講日
	27	火	講日(宗玄大徳御祥月命日法要)				
2	1	日	星祭・節分会	8	2	日	孟蘭盆会
	7	土	講日		7	金	講日
	17	火	講日		17	月	講日
	22	日	第326回 報恩講習会		27	木	講日
	27	金	講日		30	日	育成行事
3	1	日	育成合同会議	9	7	月	講日(日宣上人御祥月命日法要)
	7	土	講日		13	日	第329回 報恩講習会
	17	火	講日		17	木	講日(慈泉院殿温和妙真大姉御祥月命日法要)
	20	金	春季彼岸会		23	水	秋季彼岸会
	27	金	講日		27	日	講日／合祀供養
	29	日	青少年育成道場				
4	7	火	講日・釈尊降誕会	10	4	日	全山一斉清掃奉仕の日
	12	日	第327回 報恩講習会		7	水	講日
	17	金	講日		11	日	大黒・鬼子母尊神祭
	27	月	講日				七五三祈禱会
	29	水	胎教児証書授与式		17	土	講日・御会式
					25	日	第24回 信教師セミナー
5	3	日	浄心道場(～5日)	11	27	火	講日
	7	木	講日(法泉院殿慈温妙光大姉御祥月命日法要)		1	日	育成合同会議
	17	日	講日		3	火	第43回 御法推進全国大会
	24	日	御開山会		7	土	講日
	27	水	講日		17	火	講日
	31	日	御開山会		22	日	第330回 報恩講習会
6	7	日	講日(御開山上人御祥月命日法要)	12	27	金	講日
	14	日	御開山会		29	日	本尊授与式・授戒会
	17	水	講日		7	月	講日
	21	日	第328回 報恩講習会		17	木	講日(日達上人御祥月命日法要)
	27	土	講日(安立大法尼御祥月命日法要)		27	日	講日
					31	木	晦日参り

(注) 上記事項の変更、追加、及び団参等については事前にご通知いたします。

法音・令和8年1月号・No.675・令和8年1月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社

悦可衆心



カトレア

法音寺